

平成22年度
牛乳・乳製品の機能性等に関する
実証調査研究報告書

平成23年11月

社団法人 日本酪農乳業協会

はじめに

当協会ではこれまで、牛乳・乳製品の持つ機能性について実証調査及び研究を行い、特に牛乳・乳製品の持つ三次機能（生体調整機能）に関するエビデンスを確立してきました。

平成22年度におきましても実証調査研究を委託実施し、このたび報告頂いた成果2題を報告書として取りまとめました。

この報告書が、広く関係者のご参考となり、牛乳・乳製品に関する学術研究のさらなる発展及び消費拡大に寄与できれば幸いに存じます。

おわりに当たり、本調査研究に鋭意取り組まれ報告頂いた先生方には、心からの謝意を表します。

社団法人 日本酪農乳業協会

目 次

1. 牛全乳中性ステロイドホルモン濃度に及ぼす分娩後日数、
受胎の有無、飼養環境の影響の調査
鹿児島大学農学部獣医学科 小 島 敏 之…………… 1
2. 牛乳・乳製品摂取と生活習慣病危険因子に関する検討
ー活力年齢、血管年齢、骨密度に着目してー
筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻 田 中 喜代次……………29